



特集

就職？ 進学？ 1年次からはじまる 進路選択

シリーズ 甲南学園の20世紀 ① 平生鈇三郎、甲南学園創設

大正7年(1918年)

甲南学園の創立者である平生鈇三郎は、慶応2年(1866年)、美濃の国加納藩士田中時言の三男として誕生しました。武門に生まれ育ち、実業家として東京海上保険をはじめ損害保険業界の近代化に貢献、また川崎造船所の再建に尽力するなど、経済人としてもその名を知られた人物です。同時に彼は、母校である高等商業学校(現一橋大学)の主計学校で教鞭をとり、兵庫県立神戸商業学校の再建等の経験から、教育事業家としての教育者であることに自己の天職を見出していました。人格の修養と健康の増進を重んじ、個性尊重のもと各人の天賦の才能を引き出す教育理念。彼はこれらを実現するために、甲南幼稚園および甲南小学校の設立に参画し、大正7年(1918年)12月には甲南学園を設立、大正8年(1919年)4月、甲南中学校を開校したのです。



第1回入学生55人

第1回入学生の55人。入学式は大正8年(1919年)4月21日に挙行されました。この日のことを、平生鈇三郎は日記にこう書いています。「嗚呼、今日呱呱ノ声ヲ拳ゲタル甲南中学校ヨ。長ヘニ健在シテ、撃実剛健ニシテ志大ニ氣高ク、能ク将来ヲ達観シ、大局ノ打算ヲ誤ラザル報国尽公ノ志厚キ国家有用ノ材幹ヲ養成シ、以テ國運ノ進展ニ寄与センコトヲ祈ル事、余ノ年来ノ宿志タル一端ガ其結ニ就キタルヲ見テ、益進ンテ最終ノ理想タルベキ東洋ノ大学(人物教育ヲ率先)ノ創立ノ計画ニ一歩ヲ進ント欲スルナリ。」
「甲南学園の80年」より



平生鈇三郎の「よはー」
『人を善くするよりほか、日本を救う道はない。』
平生鈇三郎述「私は斯う思ふ」(昭和11年発行)より

インターネットで甲南大学

<http://www.konan-u.ac.jp>



特集
就職、進学、
それとも...?

目次

特集 / 就職、進学、それとも...? — 3

1年次から見通す卒業後 — 4
1999年度卒業生の進路

21世紀の就職 — 6
基礎能力と専門能力、
そして問われる問題解決能力

就職以外の選択 — 10
自分に正直な生き方を考える
何ができるか、何をしたいか

KONAN 21 — 13
2001年 新生甲南大学誕生に向けて
ハイテク・リサーチ・センター竣工

甲南 Campus Tour — 14
Seminar 西村ゼミ
Laboratory 谷口研究室
Box Close-up 体育系/ホッケー部
文化系/児童福祉研究会

Konan Spirits — 16
世代を越えて受け継がれる甲南魂

甲南通信 — 17
TOPICS
就職情報
EVENT GUIDE
お便り募集のお知らせ

シリーズ / 甲南学園の20世紀 — 20

『甲南 Today』

21世紀は、地球狭しとばかりに情報が飛び交う、グローバル・コミュニケーションの時代だと言われています。グローバル・ヴィレッジ(地球村)とも表現されるほどです。しかし、コミュニケーションが広がるだけでは、人々は情報の海に溺れてしまい、コミュニティは根つきません。コミュニケーションとは、読んで字のごとくコミュニティをつくるからコミュニケーションなのです。コミュニティが根づくためには、コミュニケーションが広がると同時に、深まらなければなりません。

ここに発刊いたします『甲南 Today』は、甲南大学というコミュニティをしっかりと根づかせるための、コミュニケーションを深める新しいメディアです。学生およびご父母の方々に、甲南大学の現況・トピックスをお伝えし、また、ご意見をうかがいながら、甲南大学がなにを目指しているのかをご理解いただければと思っております。



これを機に、さらに、インターネットなどをとおして、双方向コミュニケーションのスペースを構築することも合わせ検討していますので、ご期待ください。

学長
吉沢 英尚

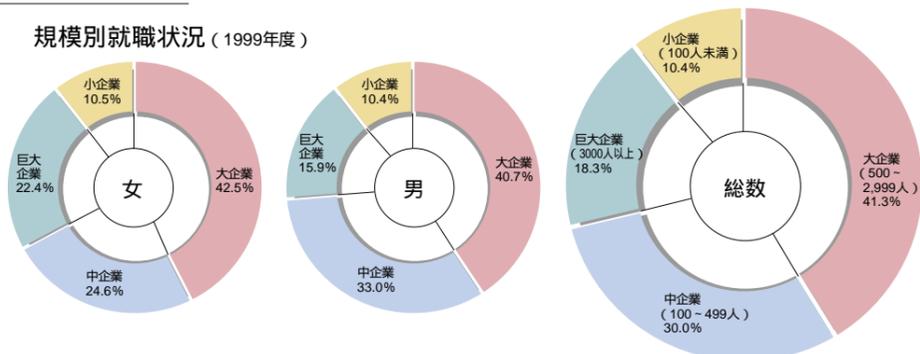


Another view of Konan

4月から大学生活がスタートしたばかりの初々しい新入生たち、そしてそれをあたたかく迎える在学生。甲南大学の2000年度が始まりました。はじけるような笑顔と笑い声とともに。

就職？進学？
1年次からはじまる進路選択

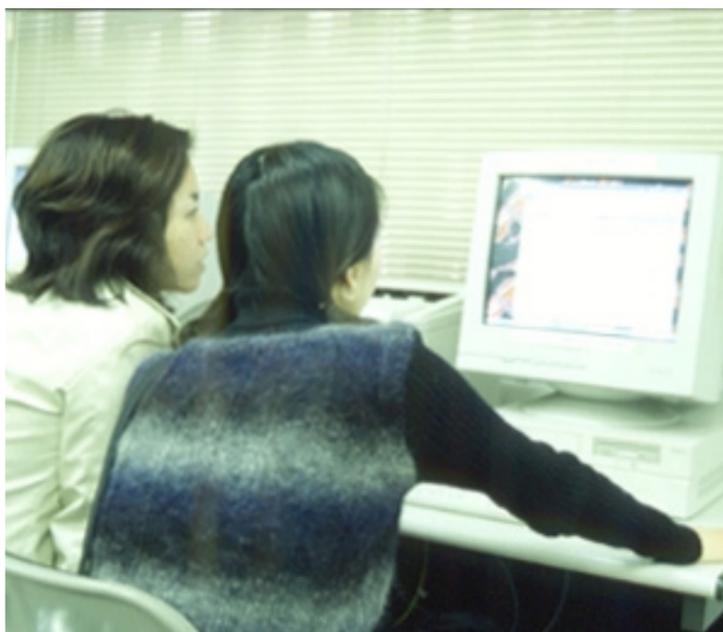
規模別就職状況（1999年度）



就職に強い甲南大学、
その背景

甲南大学の1999年度就職内定率は91.1%。特に、従業員数3000人以上の巨大企業への就職率が増加しています。今日の厳しい採用状況のなか、巨大企業への就職率が伸びた背景のひとつには、9月～12月の間、

場合によっては毎日のようにセミナーを開催した就職部のバックアップがあげられます。そして、そのセミナーを受講し続けた学生の熱意も忘れてはなりません。また、甲南大学では、4年間の一貫した指導のための「甲南就職講座」、具体的なスキルの習得を通じて就職への自覚を促進する「資格取得支援講座」、自らの個性を認識し、その個性にあった適切な指導を行う「個人面談、インターネットによる企業情報検索システム」など、就職戦線を勝ち抜くためのきめ細やかなサポート体制を配し、学生を支援しています。伝統的に「就職に強い甲南大学」の評価は今も生きています。

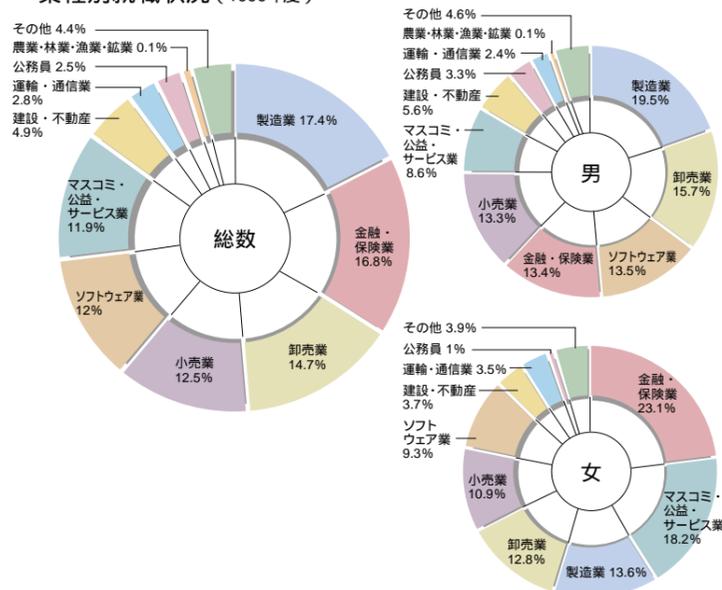


大学1年次から考える卒業後のビジョン

1997年の就職協定廃止以降、年々その活動が早期化・長期化の傾向にある就職戦線。本格化する企業のリストラをはじめ、長引く景気低迷等、雇用状況も悪化し、学生を取りまく就職環境は深刻な局面を迎えています。甲南大学就職部では、この厳しい状況下に打ち勝ち、同時により優れた人材を社会に輩出するため、きめ細やかなサポート体制を配しています。特に今日の就職活動では、大学1年次の時点から卒業後のビジョンを持つことが重視されています。

就職活動の時期になってからあわてるのではなく、将来の選択肢のなかから自分が何をしたいのかを見極めていくのです。自分と向き合い、将来の選択を自己の内面から見つけたための努力を惜しまない。それにはまず、しっかりと自己目的を持った学生生活を送ることが大切です。そして、その目的に向かって具体的な確認作業を行いながら、大学の4年間で通して本当に自分がしたいことを見つけていってください。大学生活を通して行うその確認作業と経験から、最も自分に適した将来のビジョンが描けるはずです。

業種別就職状況（1999年度）



1年次から 見通す 卒業後

1999年度卒業生の進路

就職？進学？
1年次からはじまる進路選択



「人材」こそ、今、最も企業が望む人材像なのです。

甲南大学の就職支援

就職部では、「個性あるリーダーシップ」志ある人材、「現場の問題発見・処理能力を持った人材」の3つの人材像を前提に学生の指導にあたっています。

具体的な施策としては、前出の甲南就職講座、個人面談、企業情報検索システムをはじめ、就職ガイダンス、業界研究セミナー、企業研究セミナー、エントリーシート対策講座、面接実践講座、論文対策講座 など、



多岐にわたった指導を展開、就職活動は、学業とともに併行して大学1年次からはじめ、本格化する3年次からは、講座やセミナーに参加するなどして、さらに具体的な行動へ移行していくよう指導しています。

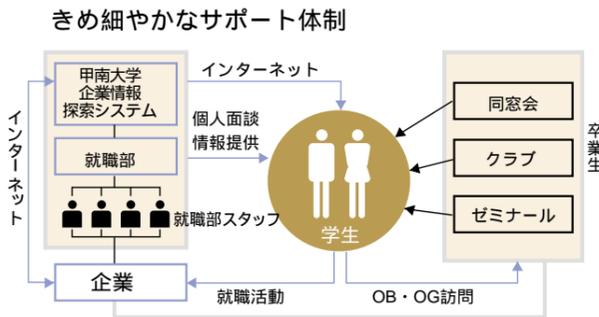
インターンシップ制度の導入

インターンシップとは、学生が在学中に自らの専攻や将来の進路と関連した就業体験をする制度です。実際に仕事を体験することで、自己の適性を把握する機会になり、また早期の離職・転職を防ぐという効果にもつながります。

変わりゆく企業環境と、求められる人材像

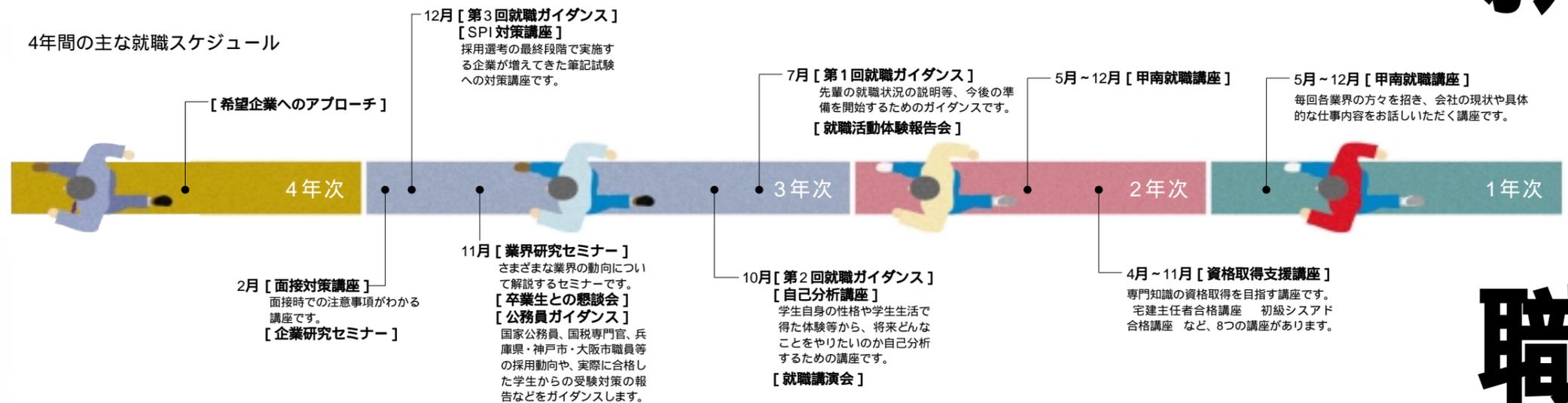
21世紀を迎え、社会は国際化・情報化・成熟化といった変革の時代に突入し、企業を取り巻く環境も大きく変化しています。終身雇用、年功序列は崩壊し、従来の組織は実力主義による再編成が行われつつあります。必然的に求められる人材像も変化し、より高い専門能力や優れた状況対応力を持った人材へのシフトが始まっています。自己管理能力に優れ、自分の意志で仕事のビジョンを描け

基礎能力と専門能力、
そして問われる
問題解決能力



就21世紀の職の

4年間の主な就職スケジュール





大切なのは行動すること。
自分が楽しいと思うことに、
どんどんチャレンジして欲しい

経済学部経済学科卒業
尾崎 陽さん
(株)東芝勤務

法学部法学科卒業
藤田 有紀さん
(株)東京三菱銀行勤務



人生をどう生きたいのか、
目的意識を持って過ごすことが大事です

専門性の高い職種に就きたかった。法律の専門学校に通い司法書士の勉強をしていました。自分が一番成長できる職種は何かと考え、最終的には金融業界へ。

就職活動中は、自分の話し方や姿勢、表情などを鏡の前でチェックして面接の練習をしたり、自己分析ノートを作ったりして自分なりに工夫していました。

世界を舞台に仕事がしたい、同時に仕事を通じて語学をスキルアップしたいと考え、メーカーを選びました。就職活動中に大切だと感じたことは、自分の興味のある職種で実際に働いている人の話をきくということです。資料や活字ではわからない、現場の声を聞くことで、行動することの大切さを痛感しました。

将来の夢は中国でビジネスをすること。便利さや快適さを求めている人々に、経済面を通じて貢献していきたい。余暇には地域の

人々に社会貢献をしたい。納得のいく将来をつかむために、皆さんにも夢や人生の指針を持って欲しいと思います。

大学生活は企業に入るための準備期間ではありません。自分が楽しいと思うことに、どんどんチャレンジして欲しい。そのなかで人生の方向性が見つかれば素晴らしいと思う。面接のとき「将来の夢は？」と聞かれて、「口もるようではダメ。そうならないために、行動あるのみです。」

1999年度
就職活動
体験談



経営学部経営学科卒業
米本 浩章さん
NTT西日本(株)勤務

目まぐるしいスピードで成長をとげる情報通信産業。私がこの会社を選んだ理由は、コンピュータやインターネットに興味があったこと。そしてこの分野の目覚ましい変化と成長に大きな可能性を感じたからです。とはいえず、以前から興味があったわけではなく、硬式庭球部を通じて知りあった先輩に、その面白さを教えてもらったのがきっかけでした。

多くの友人たちと意見を交換しよう

自分自身を見つげるために。
よく考え、よく悩み、
多くの友人たちと意見を交換しよう

さまざまな業界へのインターンシップ

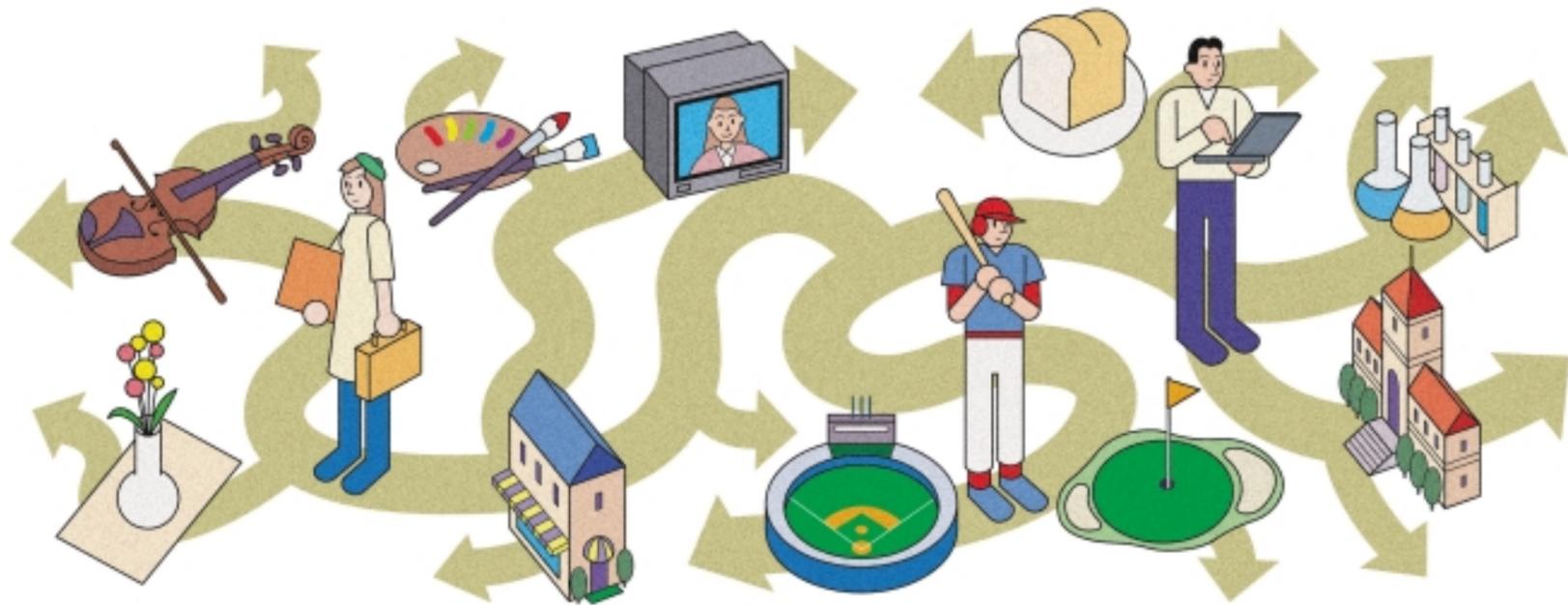


甲南大学では、経営学部が柔軟なスタンスで実施しています。時には、学生自身がインターンシップ先を見つけ、それが審査委員会に認定されれば、後日レポートを提出し、単位認定といったケースもあります。

始めるという事です。早い時期からさがし始め、その目的さえ見つかれば、進むべき道も見えてきます。



新入生への就職ガイダンス



就職以外の選択

自分に正直な生き方を考える

何ができるか、何をしたいか

自分の意志で決める。
将来の進路

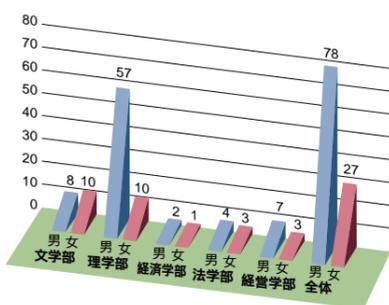
卒業後の進路を考えるとき、確かに多くの人が、就職という道を選びます。しかし、社会人になるということと就職とは果たしてイコールなのでしょうか。それは無数にある将来の選択肢のなかのひとつに過ぎません。

将来のキャリアを想定した準備期間として進学や留学を選択したり、就職ではないオリジナルのライフプランを設計することも可能です。自由な発想で将来をイメージし、必要なスキルを身に付けていく、自分の意志を発見するため、就職以外の選択肢についても広く考えて欲しいと思います。



進学という選択。大学院・留学。専攻分野の研究をもっと深めたい。高度な専門能力を持った職業人を目指したい。そう考える人にとって大学院はとても魅力的な場所です。さらに大学院修了という経歴は、就職においても大きなアドバンテージを生み出します。また、語学をはじめ、実践的な専門知識を習得する場合、留学という選択も人生を有意義なものに変えてくれます。キャリアを積み重ねれば、そのまま海外で就職す

大学院進学者数(2000年度)



るチャンスもあるのです。甲南大学ではイリノイ大学(アメリカ)、ピクトリア大学(カナダ)、マドック大学(オーストラリア)等、8カ国10校と協定を結んでいます。

自分の才能と出会う。
起業家・フリーランス

企業などの組織に属さず、もっと自由にチャレンジしたいという人には、ベンチャービジネスを起すという選択もあります。専門技術と独創的な考え方で新事業を開発するベンチャービジネス。やりたいことが明確であれば、人



生をかけて挑戦できる選択のひとつではないでしょうか。また、才能と能力を武器にプロとして生きていくフリーランスの世界には小説家、音楽家など多種多様な職業があります。頼れるのは自分だけという厳しい状況ですが、真剣にその道を志したいならば、初めから夢だとあきらめず挑戦する価値があります。



資格取得で、自分を鍛える
公務員、公認会計士、宅建主任者など、世のなかには資格が必要



就職？進学？
1年次からはじまる進路選択

な職種があります。
こういった職種への就職支援として、就職部では資格取得支援講座を開催しています。宅建主任者合格講座、通関士合格講座、一般旅行業取扱主任者合格講座、初級シニア合格講座、日商ビジネスコミュニケーション3級合格講座などを始め、各種講座を開催。これらの講座に積極的に参加しスキルを身に付けて、希望する専門職種への道を拓いてください。

自分を磨くために
充実した大学生活を

大学生活を通して一番重要なことは、やはり充実した毎日を送ることです。

興味や関心に応じて参加できるサークル活動は、スポーツ、文化、芸術、芸術など幅広いジャンルが選べる課外活動。芸術で感性を磨いたり、スポーツでナンバーワン

を目指したり。それは、もう一人の自分と向き合える貴重な時間となるはず。また、自分が興味を持つフィールドで社会へ貢献したいなら、青年海外協力隊員など国内外のボランティア活動に参加するという道があります。知識や人間性を高め、その経験から新たな進路が見えてくることも。いずれにせよ、充実した大学生活を送ることが、必ず自分の将来にプラスとなるでしょう。

を目標したり。それは、もう一人の自分と向き合える貴重な時間となるはず。また、自分が興味を持つフィールドで社会へ貢献したいなら、青年海外協力隊員など国内外のボランティア活動に参加するという道があります。知識や人間性を高め、その経験から新たな進路が見えてくることも。いずれにせよ、充実した大学生活を送ることが、必ず自分の将来にプラスとなるでしょう。



卒業生からのアドバイス

どんな職業に就いても、
責任を持って
仕事に取り組む姿勢を大切に



西村 崇さん（佳生流 華道教授）
1994年法学部法学科卒業

もともと育った環境が華道の家元ということもあり、華道教授の道を選びました。華道教授の仕事は、高校の生花の部活、文化教室、ホテルのホールや料亭の生け花とそのメンテナンス、生花展への出品活動など。ひとくちに教えるといっても、内容はさまざま。華道教室は、人に教えることによって自分も学べますし、ホテルのディスプレイは、見る人の評価自体がやりがいにつながります。
また、花は生もので、ひとつとして同じものはありません。木もそれぞれ枝ぶりが違います。生けるたび、新鮮な表情と出合えるところが、仕事をする上で最も魅力的な部分ですね。
在学中の皆さんには、私がふだんから心がけていることをお伝えしたいと思います。それは社会に出て、どんな職業に就いても、責任を持って仕事に取り組む姿勢を貫く、ということ。豊かな人生を送るために、自分らしさを大切にしながら、本当にしたいことを見つけてください。

KONAN
21

2001年
新生甲南大学誕生に向けて

ハイテク・リサーチ・
センター竣工

21世紀を拓く先端科学技術の研究拠点を目指して

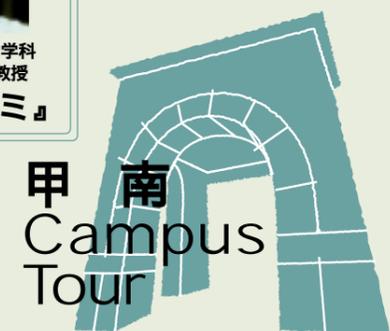


21世紀へ向けて先端科学技術研究の拠点、および産官学連携の架け橋を目指す「甲南大学ハイテク・リサーチ・センター（HRC）」がついに竣工。北校舎敷地内の南側に位置し、地上4階、地下1階、延べ床面積1697.3㎡で、総工費約5億8千万円をかけて建設されました。研究プロジェクトは2つあり、第1プロジェクトは「生体関連の超機能性新素材の開発」、第2プロジェクトは「情報関連の高機能性新素材の開発」です。HRCではこれらのプロジェクトを推進するとともに、企業の方にも参加していただけるような講演会やセミナーなどの開催も予定しています。

このような活動から、産官学の交流の輪が広がり、産学共同による研究開発から新しい科学技術の成果が生まれていく。HRCはそんな場所を目指しています。

建物概要

延べ床面積	1,697.3㎡
鉄筋コンクリート	地上4階・地下1階
地下	機械室、電気室、倉庫
1階	会議室、図書資料室、所長室、事務室、電子顕微鏡室
2階	実験室、情報処理室、博士研究室、客員研究室
3階	実験室、機器室、博士研究室、客員研究室
4階	実験室、機器室、博士研究室、客員研究室



甲南 Campus Tour

学生の目線で巡る 甲南大学

甲南大学の特色のひとつが、きめ細やかな指導を実践する少人数教育。それぞれの個性的なゼミや研究室では、学生と教員が風通しの良い雰囲気の中、活発に研究を行っています。そんなゼミや研究室の実際をご紹介します。

Seminar

 経営学部経営学科
 西村 順二教授
『西村ゼミ』



テーマを共有しながら、先生と近い距離で学べるのが魅力です。

西村ゼミでは、去年の6月から今年2月までの期間、甲南大学の近隣に立地する岡本商店街のマーケティング調査を神戸市と共同で実施。今まで通学路としてしか見られていなかった街が、ゼミでの研究を通して、新たな商店街像として浮かび上がって

Seminar ゼミ訪問

きました。岡本商店街は、「学生が多い若者の街、また、よそゆきの街」と思われていたことが、アンケート調査や通行量調査をはじめ、各種の実態調査を行った結果、実際は「普段着の街」であり、また「各世代にも受け入れられている街」ということが明らかになったのです。産官学の協同調査を通して、ゼミ生たちは自分自身の手でマーケティングの大切さを学びまし

Laboratory

 文学部人間科学科
 谷口 文章教授
『谷口研究室』

自然・社会・心の環境にバランスのとれた、健全な社会を目指して

哲学・環境学・心理学の3つを柱に、それぞれの環境と命について研究を続ける谷口文章教授。自然環境・社会環境の破壊

Laboratory 研究レポート

は、心の環境汚染が原因という見地から、人間も含めたあらゆる命と環境問題についての研究を行っています。研究室では、自分からだを動かす、行動することをベースにさまざまなフィールドワークを展開。その代表例であるピオトーブ（身近な環境創造のための「動植物の生息空間」）は、池を作り、実際にその池から自然環境が復元していく様子を体感して、自然生態系のしくみを学びます。そうした研究を通して高い環境意識を持ち、それが行動へとつながる人の育成を目指しているのです。

また、教授は地球規模の交流による環境教育を推し進めています。タイ、中国、カナダと常にコンタクトを取りあい、お



互いの国が抱える問題に対して相互理解を深め、現代社会の自然・社会・心の環境がバランスよく健全に飛躍するよう、活動を続けていきます。

Box close-up

 体育系
『ホッケー部』

団結力と礼儀が誇り。全日本学生ベスト8を目指して

体育会ホッケー部は1954年の創設。現在は、関西学生リーグ1部に所属し、最近の成績は、1999年度春季リーグ戦3位、第27回全日本学生選手権3位、第48回全日本学生選手権ベスト16など。今後の目標は、立命館大学（99関西学生リーグ戦2位）に勝って、全日本ベスト8入りを果たし、シールド権を獲得



すること。その目標に向け、日々走り込みや戦術のチェックなどの基礎練習を重ねています。練習はしつかり、その後はみんなで楽しく過ごすというメリハリのある雰囲気があるのが特長です。

天理大学の国内連勝記録を282でストップさせたというエピソードが、今も語り継がれている。また、秋のリーグ戦中は、キャプテンがよくケガをするというジンクスもあり、今年はそのようなないよう気をつけたいところです。

団結力と礼儀正しさが誇りのホッケー部。まもなく、ホームページも開設しますので、ぜひチェックしてみてください。

Box Close-up クラブ紹介

Box close-up

 文化系
『児童福祉研究会』



を目指して活動中の文化会児童福祉研究会。昨年2月には、日頃の活動が評価され、神戸市青少年協議会より、「こころやす賞（社会部門）」を受賞しました。毎週第2・4土曜日は実践活動の日として地元の小学校や児童養護施設を訪問。それ以外の活動日に企画・準備したゲームを行い、みんなで楽しい時間を過ごします。

昨年2月には、「こころやす賞」も受賞。子供たちのふれあいを大切にして、子供たちの楽しい思い出になるような、ふれあいの場づくり

「また来てね」という子供たちの言葉が日々の活動の原動力。研究会出身の卒業生には、教育関係の仕事に就く人も多く、これは子供たちとのふれあいという実践活動が役立っているのかもしれない。今後子供たちと楽しく過ごす時間を大切にしたい、より積極的な活動が期待されています。

甲南通信

TOPICS



2000年度、
甲南大学の入学者は2507人

4月5日に、2000年度入学宣誓式が実施され、大学院生121人、学部学生2386人が入学。新時代のスタートを飾る新入生がいつせいに集い、おこなやかな雰囲気の中、執り行われました。

【武蔵大学(東京)と学生交流を開始。聴講生として単位を認定】



4月1日から甲南大学(経済学部・経営学部)と武蔵大学(経済学部)は学生交流を開始。両大学の学生を、互いに聴講生として派遣する単位互換制度としての学生交流です。今回の武蔵大学で、松山大・岡山商科大に続き、3大学目の協定となりました。

【学位記・卒業証書授与式が3月24日に挙行されました】



1999年度学位記授与式、第46回卒業証書授与式が3月24日、午前10時から甲南大学講堂兼体育館で挙行されました。学位記授与(博士・修士)、卒業証書授与(学士)に続いて、沢英成学長の式辞、戸山晶夫理事長の祝辞、西川幸宏自治会委員長(経営学部3年次)の送別の辞、卒業生総代・伏見佳七子さん(経営学部)の答辞の順で式は進行し、最後に一同による学園歌斉唱で閉式。大学院生86人、学部学生2277人が卒業、社会に巣立ちました。

【新入生のために、幅広い交流とふれあいの場を提供。恒例の甲南キャンプが行われました】



4月21日から23日にかけて加古川市立少年自然の家野外センターで、第27回甲南キャンプが行われました。新入生の幅広い交流とふれあいの場を提供するための恒例行事。参加した学生は、思い思いに交流を深めながら、楽しいひとときを過ごしました。

【ハイテク・リサーチ・センターの竣工を記念し、講演会を開催】



4月22日、午前10時から141号講義室でハイテク・リサーチ・センター竣工記念講演会が開催されました。武田薬品工業株式会社代表取締役社長 武田國男氏(昭和37年・経済学部卒)を講師にお招きし、「勝ち残りの力キは革新」を演題に語っていただきました。

【甲南大学対学習院大学 運動競技総合定期戦開会式を挙行】

4月22日、学習院大学において、第45回甲南大学対学習院大学運動競技総合定期戦の開会式が挙行されました。武田篤史甲南大学体育会本部委員長(法学部4年次)は、「すばらしい試合だったと語り継がれるような大会にしたい。本大会を通して両大学の友好関係をさらに発展させていきたい」と挨拶。23競技29種目におよぶ伝統の定期戦が幕を開けました。

Konan Spirits

世代を越えて 受け継がれる

甲南大学を選んだ理由は「立地条件の良さ」と、「魅力的な校風」という村田隆志さんは、『暗雲に蒼空を見る 平生 生飢三郎』の読書感想文コンクールで、最優秀賞を受賞者。「今、力を入れて取り組んでいるのは歴史学と日本文化史。大学院に進学し、より深く研究したいと考えています。」

一番の思い出は、中国・西北大学の海外語学講座。初めての中国で見るもの、聞くもの、すべてが新鮮でした。中国語が飛躍的に向上したのも嬉しかったです。おもしろくて、コミュニケーション能力に長けていると感じる、私なりの甲南スピリッツを大切にしながら、学生時代を過ごしたいと思います。



甲南魂

私が考える甲南スピリッツは「チャレンジスピリット」。何かに挑戦するとき、最後まで頑張れば実現するということを、留学を通して学んだからです。今でも何か問題が起こったとき、この経験に支えられている自分があります。

私が考える甲南スピリッツは「チャレンジスピリット」。何かに挑戦するとき、最後まで頑張れば実現するということを、留学を通して学んだからです。今でも何か問題が起こったとき、この経験に支えられている自分があります。

文学部社会学科4年次
村田 隆志さん



1997年
文学部入学

1998年
経済学部卒業



第二電電(DDI)株式会社
関西支店ネットワーク
営業グループ勤務
三木 礼子さん

SCHEDULE

5月	春期公開講座(5/13-6/17) 現代講座(5/25)
6月	総合研究所講演会(6/3) 文化会フレッシュマンハイキング(6/4) 図書館ライブ・コンサート(6/21) 大学教育懇談会(6/24) 体育会フレッシュマンキャンプ
7月	学生相談室講演会(7/8) 前期講義終了(7/14) 補講日(7/15) 夏期公開講座 パドミントン教室(7/17-7/28) 前期試験(7/17-7/29) 夏期休暇開始(7/31)
8月	夏期公開講座 パソコン教室 8/7-8/8) 大学洋上セミナー(8/12-9/10) 外国留学出発 海外語学講座
9月	夏期休暇終了(9/20) 後期講義開始(9/21) 留学生ウェルカムパーティー

21世紀を拓くニューサイエンス・テクノロジー・イン(甲南)版題
 【開講日時】10月14日(土)・11月18日(土)毎土曜日全6回 13:30-15:00
 【定員】20名(社会人対象)
 【開催場所】甲南大学1号館2階122講義室
 【講師】山田隆司教授 杉本直己教授 松尾光芳教授
 杉村陽教授 池田能幸助教授 重松利彦教授
 【受講料】3,000円(6回分)テキスト等資料代・傷害保険料・消費税を含む
 【受付期間】9月11日(月)~9月20日(水)予定
 【申込方法】往復はがき

秋期公開講座概要

パドミントン教室
 【開講日時】8月7日(月)・8月8日(火)全2回 10:00-15:40
 【定員】30名(中学生・高校生対象)
 【開催場所】甲南大学2号館6階261講義室
 【講師】旭員耕助教授 渡邊隆俊講師
 【受講料】3,000円(2回分)資料代・傷害保険料・消費税を含む
 【受付期間】7月30日(月)~7月10日(日)
 【申込方法】往復はがき

パソコン教室

【開講日時】7月17日(月)・7月19日(水)・7月21日(金)・7月24日(月)・7月26日(水)・7月28日(金)全6回 10:00-11:30
 【定員】50名(高校生以上の女性に限る)
 【開催場所】甲南大学講義室体育館
 【講師】北岡守教授 桂豊助教授
 【受講料】3,000円(6回分)テキスト代・傷害保険料・シャトルコッパ代・消費税を含む
 【受付期間】6月12日(月)~6月20日(火)
 【申込方法】往復はがき



昨年度のパソコン教室より

EVENT GUIDE

「その他のトピックス」
 【4月】甲南学園東京事務所にて甲南大学就職活動情報ルーム開設
 【4月6日・4月7日】新歓祭 新入生歓迎祭実施
 【4月10日】2000年度講義開始
 【4月21日】学園創立記念日
 【5月13日】第13回甲南大学現代講座(講師・戸田奈津子氏)開催
 【5月15日】留学生フェアウェルパーティー開催
 【5月15日~19日】第31回学館祭実施



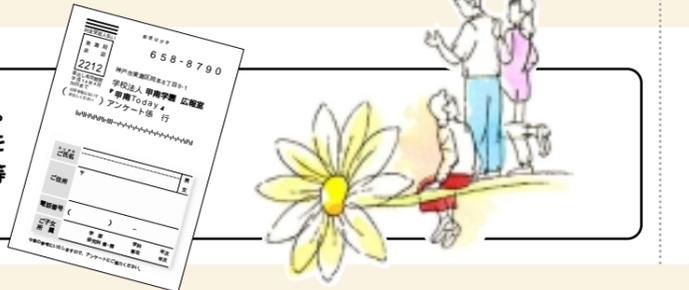
甲南大学学生自治会と岡本商店街が協力し、東灘区のクリーン作戦を実施
 甲南大学学生自治会(西川幸宏委員長・経営学部4年次)と岡本商店街とが協力し、3月13日午前9時30分より東灘区岡本地区のクリーン作戦を実施しました。学生自治会、体育会、文化会、学生会館管理運営委員会、それぞれのクラブに所属する学生ら約150人が東灘区役所の職員、岡本商店街の方たちと美化運動を展開。阪急岡本駅やJR摂津本山駅周辺、甲南大学周辺、および岡本から甲南大学への通学路の清掃を行い、東灘区役所まちづくり推進課が行うクリーン作戦に協力しました。次回は、8月の第2週目を予定しています。

神戸市友好使節団として柔道部が4回目の海外遠征を行いました
 3月11日から22日まで、甲南大学柔道部(顧問・監督 山崎俊輔教授)の選手を中心とした神戸市友好使節団(永井郁郎団長)が、4回目となる海外遠征を実施。アメリカ柔道連盟、アメリカ学生柔道連盟、ワシントン州柔道連盟などの協力を得て、親善試合をはじめ合同練習、交流を行い各地で転戦。遠征の成果を挙げました。柔道部を中心とした神戸市友好使節団の海外遠征はこれまでも、1987年に中国・天津市、1991年にフランス・マルセイユ市、1996年にオーストラリア・パース市とブリスベーン市に遠征、積極的な活動を展開しています。



お便り募集のお知らせ

「甲南 Today」では、皆様からのお便りを募集しています。お寄せいただいたお便りをもとに、誌上で皆さまとの交流を深めてまいりたいと思います。本誌同封のはがきにご意見等ご記入のうえ、お送りください。



甲南Today No.1
 【発行日】2000年5月15日
 【発行】甲南学園広報室
 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
 TEL(078)331-434(代)
 【印刷】大日本印刷株式会社

編集後記
 風薫る新緑の季節となりました。このたび、甲南大学の今を皆様にお知らせする広報誌として「甲南Today」を創刊するのはこびとなりませんでした。今年度は5月、9月、12月、3月の計4回発行する予定です。毎号、社会性・話題性に富んだテーマの特集ページと、学内の行事やニュースなど甲南大学の現在をタイムリーに伝える情報ページとで構成し、今まで以上に充実した内容の冊子にしたいと考えております。ご父母の皆様も学生の皆様も、ご意見やご要望などをどこにお寄せください。元気いっぱいコミュニケーションツールとして育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

甲南Today No.2 予告
 2000年9月25日発行予定
特集
大学生活の実際
キャンパスは時代を映す鏡
 甲南大生のライフスタイル
 甲南大生意識調査

就職情報

「甲南就職講座」開講のお知らせ
 就職部では5月から定期的に甲南就職講座を行います。毎回、各業界の方々を招いて、業界の現状や具体的な仕事内容をおつかいがい、学生がより納得のいく活動ができるよう支援していきます。ぜひ参加ください。なお、日程に変更が生じた場合、掲示版でお知らせします。

「2000年度甲南就職講座日程」

前期	9回(毎週水曜日午後4時30分~6時 122号教室)
5月10日	オリエンテーション 4年次の就職状況とその分析
5月17日	大学生活と就職(仕事観・就職観)
5月24日	各業界における就職活動
5月31日	マスコミ業界
6月7日	通信業界
6月14日	電気メカ
6月21日	化学・医薬品業界
6月28日	広告業界
7月5日	情報サービス産業
後期	12回(毎週月曜日午後4時30分~6時)
9月25日	インターネット
10月2日	就職活動
10月9日	住宅・建設・不動産業界
10月16日	食品業界
10月23日	金融業界
10月30日	保険業界
11月6日	証券業界
11月13日	商社業界
11月20日	流通業界
11月27日	旅行業界
12月4日	物流業界(運輸・鉄道・倉庫業等)
12月11日	百貨店・スーパー・コンビニ業界
12月18日	就職活動の実際(4年次の就職体験報告会)

「資格取得支援講座」がスタート
 甲南大学就職部では5月から8つの資格取得支援講座を開設します。講義は学事日程とかさならないよう実施。受講料金は学外の講座の半額以下に設定し、資格取得を目指す学生を支援します。
 資格取得支援講座の内容は次の通りです。
 簿記検定2・3級合格講座
 宅建主任者合格講座
 通関士合格講座
 初級シニア合格講座
 一般旅行業取扱主任者合格講座
 日商キータッチ2000テスト認定対策講座
 日商ビジネスコンビューティング3級合格講座
 日商ワープロ検定3級合格講座